

2025 年度事業活動計画

I. はじめに

「ネットワーク S A I T A M A 2 1 運動」(以下、ネット 2 1 運動)は、個別企業の労使では解決がむずかしい、地域での生活・暮らしに関わる様々な悩みや問題の解決をはかるために、地域の N P O や市民団体と連携し、労働組合がもつスケールメリットと中央労働金庫やこくみん共済 coop、生協などの協同組織の機能を最大限に活かして、支えあい・助け合いの地域ネットワークを結び広め、「共生の地域社会づくり」をめざす運動です。

2025 年度については、連合埼玉・福祉事業団体はもとより、地域協議会や地域労福協をはじめ、地域で活動する N P O とも連携・協働して、以下の事業活動を進めていきます。

なお、2004 年 4 月より活動をスタートした「ネット 2 1 運動」は、今年度 20 周年を迎えます。これまでの活動を振り返り、次世代のために記録を残すとともに、設立 20 周年を記念し、下記のとおり活動を展開します。

1. ライフサポート・プログラム
 - ・ 出前講座方式による各種「暮らし応援セミナー」の開催
 - ・ 生活困窮者等への支援
2. 地域活動サポート・プログラム
 - ・ 自然環境ボランティアの促進、自然環境体験事業(尾瀬)
 - ・ 地域活動参加促進事業
3. N P O サポート・プログラム
 - ・ N P O 支援事業
 - 「N P O 応援・物品助成プログラム」
 - 「N P O 応援・少額(物品等)助成プログラム」の実施
 - ・ N P O 活動への理解と具体的な参加をサポートするセミナーの開催
4. 「ネット 2 1 運動」の普及・定着に向けた広報・宣伝活動
5. 「ネットワーク S A I T A M A 2 1 運動」設立 20 周年の取り組み

II. 基本事業活動計画

1. ライフサポート・プログラム

(1) 出前講座方式による各種「暮らし応援セミナー」の開催

出前方式(講師の派遣)で開催する勤労者の生活・暮らしに役立つ各種セミナーは、連合埼玉の構成組織・加盟組合や地域労福協、埼玉シニア連合、労働者福祉事業団体など各組織で開催されるようになってきました。今後も、それぞれの団体からの要望などに応じてセミナープログラムの見直しなどもおこない、各組織・団体での更なる利用促進をはかっていきます。

①連合埼玉構成組織・加盟組合・地域協議会、地域労福協、労働者福祉事業団体、

各OB組織、埼玉シニア連合などでの利用促進。

- ②「ライフサポートステーション・ネット21（久喜・川越・熊谷・大宮）」と連携した「暮らし応援セミナー」の開催
- ③「暮らし応援セミナー」プログラムの拡充（要望に対応できる講師の選定）と講師陣リストの適宜見直し

（2）生活困窮者等への支援

勤労者のライフサポート（生活・暮らしサポート）の観点から、生活困窮者などへの支援に取り組む団体などと連携し、必要な支援をおこなっていきます。本年度は、これまで継続して実施してきたNPO法人フードバンク埼玉を通じた生活困窮者への支援をおこなっていきます。

2. 地域活動サポート・プログラム

（1）自然環境ボランティアの促進、自然環境体験事業（尾瀬）

①「夏休み親子・ファミリー自然体験プラン in 尾瀬」

夏休み・親子をキーワードとしつつも、夫婦などファミリーも対象とする自然環境体験、ボランティア活動（ゴミ拾い）などを企画していきます。今年度も、尾瀬国立公園内の山小屋に宿泊し、親子・夫婦・家族で昼夜を問わず自然体験をおこなっていただく企画を立案します。（計10家族程度 ＊スタッフ除く）

実施予定日【7月】

（2）地域活動参加促進事業

ネット21運動は、個別企業の労使では解決がむずかしい、地域での生活・暮らしに関わる様々な悩みや問題の解決をはかるために、地域のNPOや市民団体と連携し、労働組合がもつスケールメリットと中央労働金庫やこくみん共済coop、生協などの協同組織の機能を最大限に活かして、支えあい・助け合いの地域ネットワークを結び広め、地域で活動するNPOと連携・協働した「共生の地域社会づくり」をめざす運動を展開しています。

そのような中、地域活動を推進するためには、地域のNPOや市民団体と連携・協働した取り組みが必要不可欠であり、労働組合役員・組合員が地域のNPOや市民団体に、関心を持ち、そして関わり合いを持ち、そして参加から協働へと行動を移していくことが重要と考えます。

つきましては、地域活動を推進するために個々の意識・行動を「関心から協働した活動へ変革させる」ことを目的に、新事業である地域活動参加促進事業を展開します。

なお、具体的な活動にあたっての基本的な考え方は以下のとおりとします。

- ・地域のNPOや市民団体との協働した活動をめざします。
- ・開催頻度については年間2回以内（年間2団体以内）とし、補助予算については1事業あたり最大で25万円以内（参加費を除く）とします。また、開催エリアについては、できるだけ開催地域を変えて（東西南北ブロックごと）実施します。
- ・協働する地域のNPOや市民団体の選定にあたっては、NPOの活動分野である20

分野の中から、「まちづくりの推進を図る活動」「地域の振興を図る活動」「環境保全を図る活動」「子どもの健全育成を図る活動」「保健、医療又は福祉の増進を図る活動」「文化、芸術またはスポーツの振興を図る活動」の6つの分野をおこなっている団体を基本とします。

①「親子でおいしい味噌づくり in さいたま」(仮称)

地域で活動するNPOや市民団体に、関心を持ち、そして関わり合いを持ち、そして参加から協働へと行動を移していくことが必要であり、今年度は、さいたま市で活動する「NPO法人食育研究会 Mogu Mogu」の協力をいただき、日本の発酵伝統食品の良さを親子で楽しんでいただき、家族の味へつなげていける企画を立案します。(計20家族程度 *スタッフ除く)

実施予定日【2026年2月】

3. NPOサポート・プログラム

(1) 地域で活動・活躍するNPO等の支援と連携を目的とする物品等助成事業

①NPO応援・物品助成プログラム(パソコン寄贈:推薦・応募方式)

②NPO応援・少額(物品等)助成プログラム(NPO、施設などへの少額物品等の寄贈:推薦方式)

*構成団体、地協・地域労福協、地域事務所、さいたまNPOセンターなどの推薦を基本とします。

(2) パソコン寄贈団体への訪問・意見交換

2024年度寄贈10団体および2023年度以前の寄贈団体(未訪問団体)に対し、パソコンの活用方法や団体の主な活動について意見交換を実施し、活動の相互理解と連携をはかっていきます。

(3) NPO活動への理解と具体的な参加(社会参加)をサポートする事業

2018年度から「社会連帯」「共生社会」の実現に向けて、NPOと労働組合が地域で連携を深めることを目的とした「地域セミナー」を、東西南北の4地域にわけて開催してきました。このセミナーを通じて、NPOと労働組合の協力関係が新規にはかれたことや継続開催を望む声などが寄せられたことをふまえて、引き続き、「さいたまNPOセンター」との協働事業とした「地域セミナー」を企画・実施します。

本年度は、東部地域と北部地域で開催します。なお、内容としては、よりNPO活動への理解を深め、具体的な参加をサポートできる活動などを考えています。

実施予定日【東部地域12月、北部地域12月(予定)】

4. 「ネット21運動」の普及・定着に向けた広報・宣伝活動

(1) 「ワンコイン(500円)運動」の展開による、「ネット21運動」と「ボランティア・カード」の普及拡大に取り組みます。

①各組織・団体での年間を通しての勉強会・説明会の促進

②NPOや外部団体などへの「ボランティア・カード」の積極的な展開

③ネット21事務所利用者に対する「ネット21運動」のPR

(2)「協賛企業」、ボランティア・カード契約店の拡充

県内を中心に、飲食店やレジャー、福祉サービスなどを提供する企業・団体との契約拡大に努めていきます。また、地域の利用拡大を目指すことから、組合役員による情報提供などをつうじた協賛企業を増やす取組みをおこないます。

(3)「ネット21運動」の広報・宣伝活動の強化

①見やすい、わかりやすいHP、タイムリーな情報アップ

(契約企業のサービス情報、活動紹介・パソコン贈呈の公募、活動報告、等)

②運営団体などによる「ネット21運動」の紹介

③「暮らし応援セミナー」参加者へのPR活動

④パソコン寄贈をしたNPO団体の活動紹介

5.「ネットワークSAITAMA21運動」設立20周年の取り組み

これまでの活動を振り返り、次世代のために設立からの記録を残すとともに、設立20周年を記念した行事をおこない、今後のネット21運動の発展につなげることを目的として、下記の取り組みを企画・実施します。

(1) 記念行事の開催

①設立20周年記念「労働団体とNPO団体との協働を考える」シンポジウム(仮称)

2007年ならびに2017年に「労働組合とNPOの協働の可能性を考える」シンポジウムを開催し、労働組合とNPOがお互いを知り、ネット21運動が認知されるきっかけとなった。これまでの間、各地域の組合(企業)が地域の市民・ボランティア団体と連携した活動を展開している事例も散見されています。

設立20周年を迎えて、本来の目的である「労働組合とNPOの協働」を再確認し、今後の連携強化をはかることを目的としたシンポジウムを開催します。

実施予定日【10～11月(予定)】

(2) 記念誌の作成

①「ネットワークSAITAMA21運動」設立20年のあゆみ(仮称)

20年のあゆみ(活動内容、日本でのできごと)、設立20周年記念シンポジウムの内容などを記載した記念誌を発行します。

発行予定日【2026年4～5月(予定)】

以 上